

「市営交通 中期経営計画（平成 27～30 年度）」指標の修正について

交通局では、「市営交通 中期経営計画（平成 27～30 年度）」に基づき、「信頼と共益の市営交通」の実現をめざして取組を進めております。

この間バス事業では、軽油価格の下落に伴う動力費の軽減などの影響が大きく 28 年度末で当初計画を上回る経常利益となる見込みです。また、地下鉄事業についても、乗車料収入が好調に推移していることに加え、電気料金単価の下落に伴い動力費、光熱水費が減少したほか、運営コストが抑制できていることもあり当初計画を上回る経常利益が見込まれております。

このため、同計画に掲げた「経営目標の達成に向けた指標」を以下のとおり修正いたします。

【平成 28 年度末見込みを踏まえた修正内容】

指標	事業	当初計画	28 年度末見込み	修正内容
利益の確保	バス	経常利益 12 億円 (期間中累計)	経常利益 34 億円 (27～28 見込み)	経常利益 40 億円 (期間中累計)
	地下鉄	経常利益 277 億円 (期間中累計)	経常利益 180 億円 (27～28 見込み)	経常利益 350 億円 (期間中累計)

特にバス事業においては 29 年度以降厳しい経営環境が想定されますが、両事業ともにこれまで以上の増収に取り組むことなどにより、全職員が一丸となって計画に掲げた目標の達成に向けて弛まぬ努力を続けてまいります。